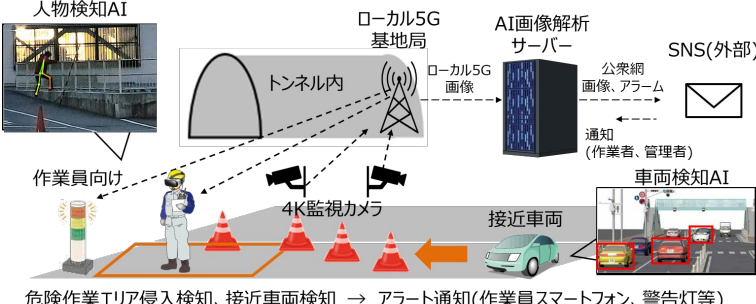
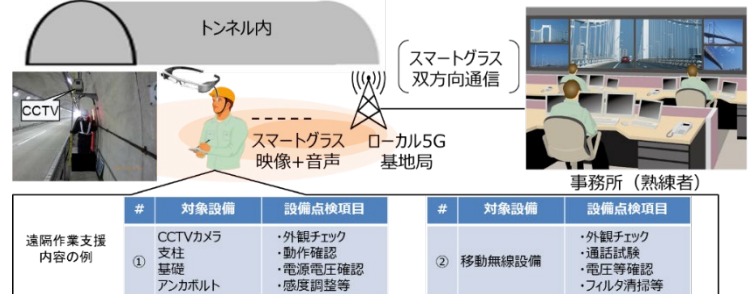


■テーマ: 高速道路のモビリティマネジメント

部会名	高速道路ローカル5G 実証部会												
代表団体	エクシオグループ株式会社*												
実証内容	<p>高速道路のトンネル内にローカル5G網を構築し、高速大容量で超低遅延かつ多数同時接続が可能という特長を活用し、路上作業における安全性向上および業務効率化について実証するもの。</p> <p>1. ICT技術の組み合わせによる即時的な異常事象検知および通知 高速道路に設置された 4Kカメラから高精細映像をローカル 5G で伝送し、AI 画像解析によって異常事象検知を行う。また、交通規制内等の現場作業員へ即時にアラート通知するまでの一連のプロセスを実証する。</p>  <p>2. スマートデバイスを活用した遠隔作業支援 ローカル 5G 通信を介した映像確認および音声通話によって、スマートグラスを装着した現場作業員に対し、遠隔地からの作業支援の実現性について実証する。</p>  <table border="1" data-bbox="438 1299 1157 1400"> <thead> <tr> <th>#</th> <th>対象設備</th> <th>設備点検項目</th> <th>#</th> <th>対象設備</th> <th>設備点検項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>CCTVカメラ 支柱 基礎 アンカボルト</td> <td>・外観チェック ・動作確認 ・電源電圧確認 ・感度調整等</td> <td>②</td> <td>移動無線設備</td> <td>・外観チェック ・通話試験 ・電圧等確認 ・フィルタ清掃等</td> </tr> </tbody> </table> <p>※本実証は、総務省事業「令和 3 年度 課題解決型ローカル 5G 等の実現に向けた開発実証」において選定されたものであり、上記実証にあわせてトンネル内環境下における電波伝搬等に関する技術検証を実施します。</p>	#	対象設備	設備点検項目	#	対象設備	設備点検項目	①	CCTVカメラ 支柱 基礎 アンカボルト	・外観チェック ・動作確認 ・電源電圧確認 ・感度調整等	②	移動無線設備	・外観チェック ・通話試験 ・電圧等確認 ・フィルタ清掃等
#	対象設備	設備点検項目	#	対象設備	設備点検項目								
①	CCTVカメラ 支柱 基礎 アンカボルト	・外観チェック ・動作確認 ・電源電圧確認 ・感度調整等	②	移動無線設備	・外観チェック ・通話試験 ・電圧等確認 ・フィルタ清掃等								
検証内容	高速道路におけるローカル 5G のユースケースとしての有効性を検証する												
実証場所	E41 東海北陸自動車道 美濃 IC～美並 IC 間 古城山トンネル(下り線)												
実証開始時期	2021 年 10 月												
(参考) i-MOVEMENT 戦術での位置付け	①全線常時監視による現場状況把握の効率化 ③災害・異常事態自動検知による事象対応の迅速化												

※エクシオグループ株式会社: 株式会社協和エクシオより 10 月 1 日に社名変更予定。

■イノベーション交流会への応募方法について

交流会の目的、会則*にご賛同いただいた入会希望者は、「イノベーション交流会 入会申込書」*に記載のうえ、お申し込みください。

※「公募説明会参加申込書」、「会則」、「イノベーション交流会 入会申込書」は、イノベーション交流会公式 WEB サイト(<https://innovative-expressway-consortium.jp>)に掲出しています。